



東陽の旋風^{かぜ} ～自律貢献～

令和5年9月15日（金）No 19 発行
文責：松本 卓也

なぜ僕らは働くのか？ ～職場体験学習Part2～

2日間の職場体験を終えての子どもたちの感想です。

- ・ 仕事をしていて一番大事なことは、コミュニケーションです。
- ・ 子どもの気持ちを考えながら、一人一人に目を向け仕事をするのは本当に大変だと改めて思いました。
- ・ 働くことは責任感をもつことだと感じました。
- ・ 保育士になりたいという思いが強くなりました。



受け入れてくださった事業所の方からは、子どもたちの頑張る姿に多くのお褒めの言葉と感想をいただきました。

- ・ 1日目、2日目と作業も慣れてきて、従業員との会話も一生懸命で感心しました。
- ・ とても真面目に働いてくれたので、予定していた作業時間よりも早く終わりました。
- ・ 「目に見える食や日用品は、意外と自分でも作れること」「過疎化が進む町村では、地域のために頑張る若い力がないこと」を知ってもらえればいいなと思います。私たちももっと頑張らなくてはと気合いが入りました。



堺建設



太陽保育園



加工生産組合すみれ会

フリージャーナリストとして活躍されている池上彰氏が監修を務めた児童書「なぜ僕らは働くのか」の中で、いろいろな仕事の共通点は「誰かの役に立っている」ことであり、働く答えの1つは、「助け合いでつくられるこの社会の一員になるため」と述べています。実際に仕事をしている人の思いや、体験することで得た意義や新たな可能性から、「なりたい自分になるために、今、何をすべきか？」を考えてほしいと思います。よりよい社会の形成者となるために、結果がわからなくても、リスクがあったとしても、自分がやってみたかつたらまず行動してほしいと願っています。受け入れていただいた事業所の皆様方、改めて、大変お世話になりました。

9年間を見通した「育ち」と「学び」をつなぐために・・・

6日（水）、第8回小中合同研修および第2回学校運営協議会を開催しました。合同研修では、実態分析や取組をもとに、学習リーダーの育成や東陽っ子のめざす姿（生活編）の作成について協議しました。各部会には、学校運営協議会員の皆さま方にも参加していただき、貴重なアドバイスをいただきました。また、学校運営協議会では、「伝統文化学習」が持続可能な取組となるように、①後継者となる新たな人材の発掘、②3つの伝統芸能を合わせた組む織づくりについて熟議を行いました。地域の皆さまのお力をお借りしながら一歩ずつ進めてまいります。



学問に王道なし ～前期期末考査～

13日（水）から15日（金）にかけて前期期末考査を行いました。14日（木）の toyo ノートには、「数学は解けたのでよかったです。明日もあるので頑張りたいです。（1年）」、「あきらめずにやれたので良かったです。（2年）」、「テスト1日目でもう疲れました。これから2日もあると思うと、やる気がでません・・・。（2年）」、「今日は5時に起きて勉強をしました。とても疲れました。（3年）」「後々間違いが分かってきたので悲しいです。（3年）」等々、悲喜こもごもの感想が綴られています。学問に王道はありません。日々の積み重ねです。これまでの取組を振り返り、来週からの家庭学習に生かしていきましょう。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）